

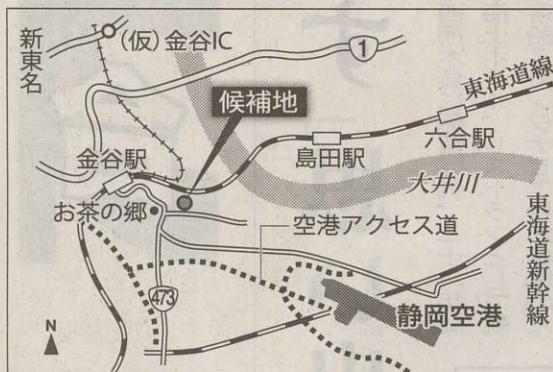
県内最大規模の多目的産業展示施設

静岡空港周辺に 共同建設を計画

県と島田市が発表

石川嘉延知事と桜井勝郎島田市市長は十八日、静岡空港に近い島田市金谷の旧金谷中跡地を中心とする地域に、国内外を対象とする大規模な見本市や展示会などを開催できる県内最大規模の多目的産業展示施設を、県と同市が共同して建設する計画を発表した。同市が用地を確保し、県が建物を整備する。最も順調な場合で四年、長くても六年後の完成を目指す。

多目的産業展示施設の候補地



「お茶の郷」と連携も

施設の候補地は市が所有する旧金谷中跡地三・二二畝と隣接する種苗管理センターの敷地一・二七畝の合計四・四九畝。石川知事は「市有地だけでは不足するので、周辺の民地を含めた敷地拡大を検討する必要がある」と述べた。

候補地西側には博物館や物産販売店を備え

た。施設規模は静岡市駿河区のツインメッセ(展示場総面積一万一

千五百平方メートル)を上回る規模を想定している。石川知事は「大きくても(展示場総面積)一万五千平方メートルとし、建設費は約十五億円かけた富士市のふじさんめっせ(三千八百四十平方メートル)を基準に、規模にもよるが、その何倍かになる」との見方を示した。

石川知事は「厳しい財政事情の中でも十分実施できる。産業振興、経済活性化の種になる事業で、将来的に財源が生まれてくる」と強調。桜井市長も「志太榛原、中東遠地域への経済波及効果は大きい」と期待を寄せた。